

★ 米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会総会が開催されました。

2月14日(金)に総会を開催し、平成25年の活動等を確認の上、平成26年度の事業計画や予算について協議しました。

平成26年度の事業計画としましては、岩国への空母艦載機の移駐時期が平成29年頃になり、移駐等に必要な格納庫や駐機場等の施設整備、米軍家族住宅への建設に向けた動きが着実に進んでいることを踏まえ、馬毛島へのFCLP施設設置に向けた国の動きも加速することが予想されることから、これまで以上に本協議会が団結し、住民の関心や理解を深めていく取り組みを行い、併せて国の状況をみながら、随時要請活動を実施していくことなどが決まりました。



～協議会総会の様子～

総会終了後、報道各社から今後の本協議会の活動方針などについて質問があり、長野会長(西之表市長)が「これまで同様、国に対し反対の意思を明確に伝えていく」と述べました。



～協議会総会を取材する報道各社～
馬毛島に関する問題が、いかに大きな問題か伺えます…

～平成25年協議会の活動経過概要～

H25.11.6	協議会が防衛省を訪問し要請活動を行う。長野力会長が武田良太防衛副大臣に対し、関連予算の執行と計上を行わないことや、日米共同文書からの削除、FCLP候補地から除外することなどを求めた要請書を提出。
H25.12.7	武田良太防衛副大臣ほか11人が種子島を訪問し、各市町の首長等と会談。西之表市役所には、移転反対派住民約100人が集まり、反対をアピールした。
H25.12.8	武田良太防衛副大臣が屋久島を訪問。屋久島町役場では、馬毛島の軍事施設化を許さない屋久島の会の会員ら約40人が抗議活動を行った。